

履修生 募集

Multilingual Expert Program

2020年度 マルチリンガル・エキスパート養成(MLE)学部プログラム 外国語学部生向けプログラム(文系4学部提供)

MLE学部プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型の副専攻的教育プログラムで、専門分野に加え、他の文系学部の専門教育レベルの授業を体系的に学修することができます。

2015年度に始まり、現在197名の選抜された学生が履修中です。総合大学ならではのこの環境を最大限利用してみませんか。

募集プログラム(募集はいずれも若干名)

■ 2020年度に外国語学部外国語学科 **2・3年次** に在学する正規学生対象

文学部

人文学

(グローバル・
アジア・スタディーズ)

アジアを対象として、思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高い専門性を備えたグローバル人材としての能力を涵養する事を目指します。(卒業までにプログラムの構成科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること)

文学部

人文学

(グローバル・
ユーロ・スタディーズ)

ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを目指します。(卒業までにプログラムの構成科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること)

■ 2020年度に外国語学部外国語学科 **2年次** に在学する正規学生対象

人間科学部

人間科学

(共生の生態)

人間科学部の多様な専門性を活かして、さまざまな角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目指します。(卒業までにプログラムの構成科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること)

法学部

法学・政治学

法学・政治学の基礎知識、理論を学び、自分の意見を持ち、論じることができ、応用力も涵養する事を目指します。(卒業までにプログラムの構成科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること)

経済学部

経済学・経営学

経済学・経営学の基礎知識、理論を学び、現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、論じることができ、応用力も涵養することを目指します。(卒業までにプログラムの構成科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること)

ガイダンス

【日 時】2020年1月14日(火)12:00～13:00 【場 所】豊中キャンパス 全学教育推進機構大講義室

【対象者】2020年度に外国語学部の2・3年次に在学予定の正規学生

※各プログラムのコーディネーターがプログラムの概要を説明します。

申請手続

応募希望者は一つのプログラムを選択し、下記期間内に履修申請書と成績証明書を、各プログラム開設学部の教務係に提出してください。

履修申請書の提出期間 2020年1月6日(月)～2月5日(水) 17:00

成績証明書の提出期限 文学部：2020年3月2日(月) 16:00

人間科学部：2020年3月3日(火) 16:00

法学部：提出不要

経済学部：2020年3月2日(月) 16:00

履修生の声

人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ) / Humanities (Global Asia Studies)

人文学 (グローバル・ユーロ・スタディーズ) / Humanities (Global Euro Studies)

グローバル・アジア・スタディーズ

興味が少しでもあるならば履修すべきだと思います。自分の視野を広げることができるのがこのプログラムの一番の利点です。専攻語との両立は計画的に履修しなくてはならないが、MLE に参加している人たちは皆、とても勉強熱心でとても良い刺激になっています。本当にプログラムに応募してよかったと思っています。

(ヒンディー語専攻)

グローバル・ユーロ・スタディーズ

文学部ユーロスタディーズを履修することで、ヨーロッパの文化や歴史等、言語を超えた知識を学べます。これにより、例えばニュースの背景に何があるのか、自分で考えて冷静に分析するきっかけにもなりました。私は専修免許取得のために院に進む予定なので、このまま大学院プログラムも履修するつもりです。教職との両立は大変ですが、自分の本当に学びたいことなので、やりがいがあります。元々文学部に興味があったという人におすすめです。

(フランス語専攻)

人間科学 (共生の生態) / Human Sciences (What Is Living Together?)

私が受講した遠隔配信授業ではディスカッションの時間があり、同じ教室で授業を受けているような気分になりました。履修のメリットは、やはり外国語学部では得られないような視点を学べることだと思います。多角的な視点を持つようになりたいという方には特におすすめしたいです。

(タイ語専攻)

MLE のプログラムには自分の興味を満たしてくれる講義がたくさんあります。自分の専攻を飛び越えてまったく別の分野を学ぶ機会を与えられるのは阪大だからこそ。こんな有意義な機会に参加しないのはもったいないと思います。もっと自分を磨いた方が良いと思う方々はぜひ履修してみてください。

(スワヒリ語専攻)

法学・政治学 / Law and Politics

外国語学部では学ぶことのできない専門知識を学べるのはもちろんのこと、その知識を外国語学部での授業に自分の中で還元することでさらなる学びを得ることができるのがこの MLE の魅力だと思います。ぜひ、幅広く学ぶ機会に挑戦してほしいです。

(ベトナム語専攻)

他学部の学生だけでなく、外国語学部で同じプログラムを履修している学生からも良い刺激をもらうことができます。せっかく総合大学で学んでいるのだから、外国語を極める以外のことにも挑戦してみたいという熱い思いがある人は、挑戦してみる価値があると思います。一緒にがんばりましょう。

(英語専攻)

経済学・経営学 / Economics and Business Administration

キャンパス間移動や履修計画の立て方など大変なことも多いのですが、日本トップレベルの大阪大学の経済学部を受講できるので、とてもワクワクしながら授業を受けています。迷っていた、あきらめた分野がある人は、MLE の履修を強くおすすめします！

(ポルトガル語専攻)

学部の枠にとらわれず学習できるため、日頃の学習(外国語の授業を含む)においても良い刺激になると思います。見識を大いに広げるまたとない制度であるため、ぜひ積極的に活用してほしいです。

(英語専攻)

※卒業までに所定の単位数を修得した履修生には、総長とプログラム開設学部の長との連名によるMLE学部プログラム修了認定証が授与されます。

※履修申請書の様式はKOANの掲示板およびMLEのホームページで入手できます。開設学部の定める方法に従って履修生を選択し3月末ごろ各学部から発表します。

※詳細については、案内冊子、ホームページをご覧ください。

問合先：言語文化研究科・外国語学部

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE)

TEL : 072-730-5062

Email : multilingual@lang.osaka-u.ac.jp

URL : <http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



文学部・人間科学部・外国語学部・法学部・経済学部